

平成29年(ヨ)第651号 高浜原発3, 4号機運転差止仮処分命令申立事件
 債権者 水戸 喜世子
 債務者 関西電力株式会社

証拠説明書(4)

(疎甲第45号証)

平成29年(2017年)8月10日

大阪地方裁判所 第1民事部 御中

債権者代理人 弁護士 井戸 謙一

弁護士 河合 弘之
 外

号 証	標 目 (原本・写しの別)	作 成 年月日	作 成 者	立 証 趣 旨	備考
疎甲45号証	映画「日本と原発4年後」DVD ※福島第一原発1, 3号機の爆発シーンを除く。	原本	H27.10.8	監督 河合弘之, Kプロジェクト	①新宿の空間線量と常磐道・浪江の空間線量の違い ②日本の原発の歴史の概要, アイゼンハワー大統領の有名なアトムズ・フォー・ピース「原子力の平和利用」演説から福島第一原発事故まで ③開通した常磐自動車道(2015年)の異常な放射線量 ④福島県浪江町請戸の被害:津波の被災者の救出を原発事故が妨害し多数の死者が出たと考えられること—消防団員の体験談 ⑤福島県相馬郡飯舘村の2015年夏における被害状況—まったく立ち直れない村民の嘆き ⑥原発の仕組みと死の灰(広島原爆168発分) ⑦原子力安全基盤機構制作の事故シミュレーションCG(2008年制作)で東京電力福島第一原発事故が予告されてい

号 証	標 目 (原本・写しの別)	作 成 年月日	作 成 者	立 証 趣 旨	備考
				<p>たこと</p> <p>⑧福島第一原発事故で東電が作業員の全員撤退を検討していたこと—動かぬ証拠としてのテレビ会議記録。福島原発事故では国家壊滅危機があったこと</p> <p>⑨近藤駿介最悪シナリオ:福島第一原発事故では国家壊滅危機を想定する近藤駿介「福島第1原子力発電所の不測事態シナリオの素描」(通称:最悪シナリオ)が作成されていたこと。このシナリオは原子力安全基盤機構などの職員とともに作成された科学的なものであることを近藤駿介氏が認めたこと</p> <p>⑩チェルノブイリ原発事故の現状と放射能障害,子どもが特に被害を受けること</p> <p>⑪放射線被曝についての考え方—いかなる量でも危険があり,安全しきい値はないこと</p> <p>⑫福島原発を襲った津波は想定されていたこと。それによる当時の東電取締役らへの刑事責任追及が進んでいること</p> <p>⑬原子カムラ(巨大利権構造)の実態。—日本の経済,政治の6割を抑える—凶解付き</p> <p>⑭原子カムラの天下りの実態</p> <p>⑮東電株主代表訴訟—役員 of 民事責任追及(5兆5000億円)</p> <p>⑯原発問題における司法の重要性</p> <p>⑰原発推進の正当化理由は自己完結型永久エネルギー構想</p>	

号 証	標 目 (原本・写しの別)	作 成 年月日	作 成 者	立 証 趣 旨	備 考
				<p>だが、完全に破たんしていること</p> <p>⑱核兵器開発の潜在的能力の維持が原発推進の影の理由でもあること</p> <p>⑲新規制基準の3つの欠点</p> <p>⑳田中俊一原子力規制委員長が新規制基準は安全を保障しないと何回も明言していること。同氏が「新規制基準が世界最高水準というのはレトリックの問題である（即ち客観的眞実ではない）」と認めていること</p> <p>㉑原発でも失敗は成功の母というなら「福島失敗をもう一回やるんですか？。その覚悟はあるんですか？その意味があるんですか？」と技術者が問うていること</p> <p>㉒テロ・戦争問題：日本の原発はテロ・戦争行為（特に北朝鮮からのミサイル攻撃）に極端に弱く、しかも無対策であること。北朝鮮からのミサイルは7分で日本に到達すること。原発は自国にのみむけられた核兵器であること</p> <p>㉓原子力推進のトップに立つ科学者である近藤駿介氏が、原発は絶対安全、福島第一原発事故のような事故はもう絶対に起きないなどと、不遜なことは言わないと言っていること</p> <p>㉔原発を一般の科学・技術の進歩論にあてはめてはいけないこと</p> <p>㉕中部電力浜岡原子力発電所の特別に強い危険性と想定被</p>	

号 証	標 目 (原本・写しの別)	作 成 年月日	作 成 者	立 証 趣 旨	備 考
				<p>害の甚大さ（国家壊滅リスク）</p> <p>②⑥福井地裁大飯原発差し止め判決の概要</p> <p>②⑦原発はCO2を排出しないクリーンな発電であるかという主張に対する反論</p> <p>②⑧飯舘村の母親たちの深刻な心配</p> <p>②⑨被曝を恐れる人たちが多くいることは客観的な事実であり、そのことが重要であること</p> <p>③⑩福島県双葉郡浪江町の子どもたちが、9校から699校散らばらされていること。町民の怒り、悲しみ、悔しさ</p> <p>③⑪原発関連自殺者が多く出ていること</p> <p>③⑫安倍首相の言葉「汚染水は港湾内でブロックされている」はウソであること</p> <p>③⑬福島原発の汚染水が世界中の海を汚すこと</p> <p>③⑭使用済み核燃料問題は世界でも未解決であること、後世に危険と負担を押し付けること</p> <p>③⑮原発が無くても電力は足りること</p> <p>③⑯原発のコストは安くないこと</p> <p>③⑰安倍首相の国富流出論は大げさであって、日本経済の規模や実力を度外視していること</p> <p>③⑱福井地裁高浜原発仮処分決定の概要</p> <p>③⑲鹿児島地裁川内原発仮処分却下決定の内容</p> <p>④⑰東電元役員が強制起訴になったこと</p> <p>④⑱細川護熙・小泉純一郎ふたり</p>	

号 証	標 目 (原本・写しの別)		作 成 年月日	作 成 者	立 証 趣 旨	備 考
					<p>の総理大臣経験者（保守政治家）が脱原発を主張していること。小泉氏が「原発は安全、安い、クリーン、みんなウソ！！」と断じていること</p> <p>⑫世界は自然エネルギーの興隆期に入ったこと</p> <p>⑬原発事故は国民生活を根底から覆すこと。経済も文化も芸術も教育も司法も福祉も覆す。裁判所が放射能に侵されたら司法も機能しないこと</p>	

以上